

文庫10
8827
8-17

大阪朝日新聞の新聞新の物讀

えんふ 43しあろふちあは 伸料かじし
しつれうのだらうか まあも 暖る深みえふ
あふあかみ 上方見物 か序に根をさふ

上方見物

上方見物 大阪朝日新聞の新聞新の物讀
上方見物とは名からして變である此の男
上方に來て何を見物したか京は本願寺よ
り西山東山乃至新京極を鵜の目鷹の目に
見物し大阪は道頓堀より町々到處を藪
野式に觀察し其の筆に上るは何々ぞ更に
神戸和歌山奈良山田甥の荅野花之助を伴
れ隈なく見物する藪野十君常に見るも
のは奇と思はず可笑しき事も知らずに濟
む然るに田舎上りの此の藪野十君滑稽と機
智と敏捷と妙文とを以て見れば書き書き
ては見必ず讀者諸君の願を解くものある
べし藪野十君の觀察と筆とは「東京見物」に依
りて知るものは知らん請ふ二月二十三日
以後の大阪朝日新聞を見よ。

大阪朝日新聞社販賣課

二月
深刻なる觀察眼を以て經妙洒落なる筆を揮ひ、昨年『東京見物』を著し讀書
界を驚愕駭目せしめたる藪野十君とは何人なるかは文壇の一疑問に有之い
處此の藪野氏の正體こそ朝日新聞社新進の一記者なりとは、此の篇囊の
『東京見物』にも勝り一層喝采を博しし事と信じし掲載の當日より御見落し
なく御愛讀御注文の程希上い

大阪朝日新聞大賣捌所

魚本市餅屋今即
林新聞鋪

80
75
70
65
60

